

令和7年度 京丹波町 町政懇談会を開催します

畠中源一町長が町民の皆さんの地域へお伺いし、町政の推進についてお伝えします。
 時間はいずれの会場も、午後7時30分～午後9時の間で実施します。ぜひご参加ください。

地区	開催日	会場	対象地域
和知地区	6月26日(木)	市場ふれあいプラザ	中山、升谷、市場、大倉、篠原、大迫、長瀬、塩谷、上乙見、下乙見
	6月30日(月)	細谷共同集会所	西河内、下栗野、細谷、上栗野、仏主
	7月 3日(木)	和知ふれあいセンター	本庄、坂原、中、角、広瀬、安栖里、小畑
	7月 7日(月)	広野公民館	才原、大簾、広野、出野、稲次
丹波地区	7月 9日(水)	京丹波町役場	須知、市森、上野、蒲生、蒲生野、曾根、院内、幸野、森、塩田谷、安井
	7月14日(月)	富田公民館	富田、豊田、上豊田、実勢
	7月16日(水)	ふれあいセンター和楽美	下山、グリーンハイツ
	7月18日(金)	竹野地区基幹集落センター	笹尾、中畑、辻村、中村、下村、鎌倉、西階、水戸、新水戸
瑞穂地区	7月23日(水)	山村開発センターみずほ	中台、橋爪、和田、井脇、大朴、井尻、八田、小野、長谷
	7月25日(金)	梅田振興センター	坂井、水原、上大久保、下大久保、鎌谷下、鎌谷中、鎌谷奥、東又
	7月28日(月)	三ノ宮基幹集落センター	保井谷、栗野、妙楽寺、水呑、三ノ宮、質志、戸津川、猪鼻
	7月29日(火)	質美振興センター	行佛、中村、庄ノ路、質美和田、上野、下村、北久保

※天候や都合により日程などが変更になる場合があります。
 その際は京丹波あんしんアプリや自主放送番組などでお知らせいたします。

ふれあい懇談会の開催

畠中町長が、地域の団体やサークルなど、地域活動をされているところへ出向いて対話を行う「ふれあい懇談会」も随時開催します。お気軽にご連絡ください。

町政懇談会説明VTRはこちら



アンケートフォームはこちら



【発行】京丹波町 【企画・編集】企画情報課 TEL 0771-88-5000
 【メール】koho.11ch@town.kyotamba.lg.jp

令和7年度 京丹波町 町政懇談会

未来へ 幸せつなぐまち



目 次

1 町長あいさつ 3

 「未来へ 幸せつなぐまち」
 令和7年度京丹波町町政懇談会の開催へ向けて

2 令和7年度京丹波町当初予算概要 4

 ・ 健やかで幸せな食の町 6

 ・ 教育と子育ての町 10

 ・ 人のふれあいを感じる町 14

 ・ 未来へ 幸せつなぐ 持続可能なまちへ 18

GREEN
GREEN
KYOTAMBA

「未来へ 幸せつなぐまち」
令和7年度京丹波町町政懇談会の
開催へ向けて



京丹波町長 畠中 源一

町民の皆さま、日ごろは町政の運営ならびに推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度も、京丹波町のまちづくりについて、町民の皆さまと対話をさせていただくため、丹波地区、瑞穂地区、和知地区の12会場において町政懇談会を開催いたします。町民の皆さまに直接お会いし、お話を伺えるかけがえのない機会であり、楽しみにしております。

私が、京丹波町政をお預かりして早4年が過ぎようとしています。この間、「みんなで、元気、希望、笑顔のあふれる京丹波町」の実現に向け、町民の皆さまとともにまちづくりを進めてまいりました。そして今、京丹波町はまた種が芽生え、成長期に入ろうとしています。

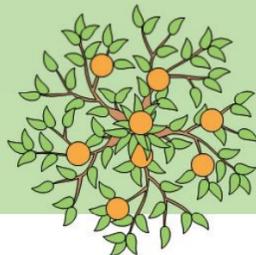
今年度の町政懇談会では、「未来へ 幸せつなぐまち」と題して、京丹波町の活性化や、持続可能な地域社会の構築を実現するために進めている施策や町の状況などを丁寧にお伝えし、対話の中で“ともに考えたい”と思っております。さらに、地域の団体やグループ、サークル活動をされている皆さまと対話をさせていただく機会として「ふれあい懇談会」も随時開催させていただく中で、町の未来をともに作り上げていきたいと考えております。

また、今年、京丹波町は合併20周年を迎えます。これまで町民の皆さまや京丹波町に関係する皆さまと築いてきた歴史を振り返りながら、みなでお祝いする機会として、記念式典やカウントダウンイベントなども行ってまいります。イベントなどの情報につきましては、プロモーション戦略により広く発信し、交流人口、関係人口の増加にもつなげ、移住定住施策などとも連携する中で、人口が減少しても賑わいのある、持続可能な地域社会の実現にもつなげていきたいと考えております。それぞれのお立場で関わっていただく中で、京丹波町への思いが深まることを願っておりますし、本年を契機として、町に関わるみんなで、ともに考え取り組むまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

町政は町民の皆さまと考え、より効果的な施策を実施していくことが大切です。町政懇談会への皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

令和7年度京丹波町当初予算概要

～まいた種が実を結ぶ予算～



京丹波町では、町民の皆さまお一人お一人がいつもほがらかで、明るくぬくもりのあるまちづくりを目指しています。令和7年度、京丹波町は一般会計132億2,000万円、特別会計96億3,569万9千円の予算を計上しました。

基本理念

みんなで元気・希望・笑顔のあふれる京丹波町に

3つの柱

1 健やかで幸せな食の町

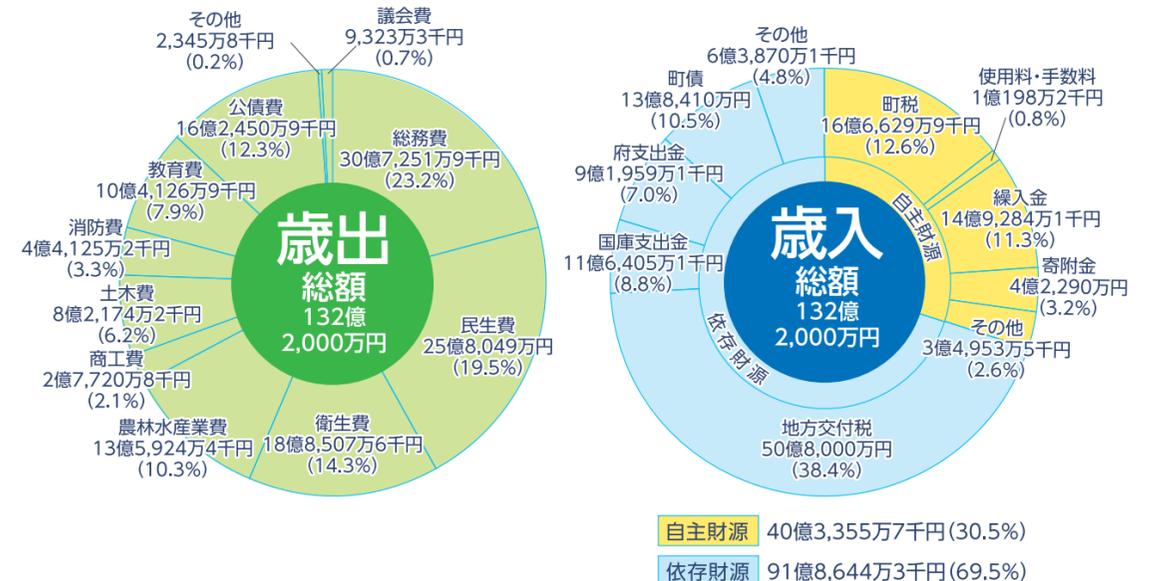
2 教育と子育ての町

3 人のふれあいを感じる町

一般会計

132億2,000万円

(前年度比 +19億8,700万円 +17.7%)



特別会計・公営企業会計 総額

96億3,569万9千円

(前年度比 +1億3,394万6千円 +1.4%)



人生100年時代

京丹波町で生まれ

いつまでも「心」と「体」が健やかで

幸せを感じながら

生きがいと誇りを持ち

笑顔で過ごすことができる

京丹波町を目指して

健やかで幸せな食の町

PICK UP!

だれもが、いつまでも「健幸」で活躍できる町へ



国保京丹波町病院



たいじょうほうしん

▶ 带状疱疹ワクチン 定期接種の実施

皮膚の痛みや発疹などが起こる病気である带状疱疹のワクチンの定期接種を実施します。

対象者：以下の接種希望者

- ① 満60歳から64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方
- ② 年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳になる方（5年間の経過措置）
- ③ 年度内に100歳以上になる方

▶ がん患者アピアランスケア支援

がん患者の心理的、経済的負担の軽減を図り、療養生活の質の向上を支援することを目的に、がん治療に起因する外見の変化の苦痛を和らげるウィッグ（かつら）や乳房補整具などの購入費用を助成します。

助成額：購入費用の1/2（上限額）

- 1、ウィッグ（かつら）など 3万円
- 2、乳房補整具（①②のいずれか）
 - ① 補整下着 2万円
 - ② 人工乳房 5万円



▶ 健康診断の充実

健康の要となるのが健（検）診です。病気の早期発見、早期治療が大切です。京丹波町では、住民健診を無料で受診していただくことができます。

▶ 瑞穂保健福祉センターの改修

瑞穂保健福祉センター2階の空調設備を改修し、訪れた方が快適に過ごしていただけるよう対策をとります。

改修場所：プレイルーム、地域活動支援センターさんぽ、ボランティアルーム、京丹波町社会福祉協議会、集団指導室、会議室、介護研修室、和室など



瑞穂保健福祉センター

豊かでブランド力のある食の価値を磨き上げる



▶ フードバレー農場による人材育成

瑞穂地区のグリーンランドみずほに、農業研修施設「フードバレー農場」を開設しました。京丹波町で農業をしたいという想いのある方が、実践を通じて農業を学び、「食」と「農」の分野で活躍できる人材の育成を目指します。

農業研修施設「フードバレー農場」
◀◀ (グリーンランドみずほ内)



▶ 京丹波栗の振興

ブランド価値の高い数多くある食材の中で、力を入れるのが「京丹波栗」の振興です。大阪・関西万博において、世界へ向けて、京丹波栗のプロモーションを行うほか、有名ホテルと連携した取組を実施します。

今年10月には、全国各地の栗産地が一堂に会する、全国モンブラン大会を京丹波町で開催します。

有名ホテル「HOTEL THE MITSUI KYOTO」で京丹波栗フェアを開催 ▶



▶ フードバレー推進事業



食による町の活性化などを進めるため、フードバレー京丹波推進協議会と連携し町内の特産物などを生かした商品の開発などに取り組みます。また、料理人による食の掘り起こし、食品加工の幅を広げる取組を実施します。

▶ 畑川ダムの周辺整備



ダム周辺に京丹波栗の魅力伝える農業交流空間、観光農園の整備に向けた計画を行います。



フードバレー京丹波推進協議会
アドバイザー 小林 啓治さん
(京都府立大学教授)

京丹波町には、すでに高いブランド力があります。50年100年先の未来を見据えると、京丹波町のフードバレー構想には大きな可能性があるのも私共も尽力したいと考えています。

フードバレー構想とは

京丹波町が食の集積地(フードバレー)となり、「農業」「観光」「情報」「産業」が連携を図り、まちの魅力を高め、活力を生み出すために進めている取組です。

健やかで幸せな食の町

主な予算

フードバレー推進事業 1,489万8千円

- 【新規】京丹波フードバレー推進事業費補助金 400万円
- 【拡充】食の魅力発信・付加価値の向上に関する取組 224万3千円
- 【新規】フードバレー農場による人材育成 865万5千円

京丹波栗リファイン事業 1,079万8千円

- 【拡充】京丹波栗の価値創出・価値向上に係る取組 548万9千円

丹波くり振興事業 2,131万3千円

- 【拡充】丹波くり振興事業補助金 2,002万9千円

健康診査事業 3,978万8千円

- 【新規】がん患者アピアランスケア支援 48万円

予防接種事業 4,703万円

- 【新規】带状疱疹ワクチン定期接種 713万1千円

保健センター管理事業 6,659万2千円

- 【新規】瑞穂保健福祉センター空調設備改修工事 5,300万円

畑川ダム周辺整備事業 1,843万円

- 【新規】畑川ダム周辺の整備 1,782万円

教育と子育ての町



～まちづくりはひとづくり、ひとづくりはまちづくり～

京丹波町で生まれ育つ子どもたち

みんなが健やかに成長できるよう

“京丹波町の良さを生かした

京丹波町ならではの教育”を進めています

PICK UP!

子どもが学び、活動する環境の整備



▶ 保育支援システムのICT化

子どもたちが安心して登園できるよう、保育支援システムのICT化を進めます。

保護者の利便性向上やこども園の業務効率化により、保育の質を高めます。

概要： 登降園管理、園児情報、健康診断記録、帳票管理、シフト管理、写真共有・販売、連絡帳、保護者への緊急連絡など園業務をデジタル化



▶ 小学校に移動式空調器の導入

熱中症対策として、昨年度、中学校の体育館に導入した移動式空調器(スポットエアコン)を今年度、町内5カ所の小学校体育館に導入します。

また、丹波地区の大規模避難所である蒲生野中学校体育館に、災害発生時の停電に備え電力発電を行うことができる冷暖房設備(ガスヒートポンプエアコン)を整備します。



▶ インターンシップの実施

保育教諭を目指す大学生を対象に、こども園での就業体験として、「インターンシップ」を実施します。

受入した学生の身分は、京丹波町職員(会計年度任用職員)とし、給与の支給を行います。



▶ 町内産食材を活用した給食の提供

子どもたちが毎日食べる給食は、安全安心が第一です。化学肥料や農薬を低減して作られた食材を活用した給食の提供を進めます。また、須知高校や石井食品(株)京丹波工場、十文字学園女子大学と連携し、メニュー開発を行います。



町内産の特別栽培米(化学肥料、化学合成農薬を慣行の50%削減したコメ)を使った米飯給食を提供



▲ 石井食品株式会社と栄養教諭が共同開発したハンバーグが給食に登場



▲ 世界のチーズ職人が競うアルティザンチーズアワードで銀賞に輝いた須知高校食品科学科

▶ 須知高校の魅力化

まちの担い手を育成するため、本町唯一の高校である京都府立須知高等学校の魅力化に必要な支援や取組を進めます。

【主な取組】

- ・魅力化に向けた検討会などのコーディネート、魅力化のビジョン(目標)の策定
- ・魅力化コーディネーターの選定、育成
- ・生徒の増加に向けたPRなど

地域の歴史や文化財は、まちの大切な宝です。今年度、美術工芸品や建造物などの文化資料の補修、民族文化資料や遺跡、天然記念物などの保全を行います。

わたなべけ
▶ 渡邊家住宅茅葺屋根葺き替え

- 令和7、8年度
- ▼ 屋根の葺き替えを実施



▶ 内装

- 国の重要文化財に指定されている渡邊家住宅(蔵区)ふるさと納税制度を活用して寄付金を募り
- ▼ (ガバメントクラウドファンディング)、補修の実現へ



▲ 老朽化が課題となっている「のびのび2組」今年度、瑞穂小学校敷地内に整備

▶ 放課後児童クラブの充実

子どもたちを預かる放課後児童クラブの需要が高まり、昨年度入部の待機が発生しました。今年度、保護者の皆さんの需要に応えられるよう、支援員の安定的な確保や預かり時間の延長など、運営実績のある民間事業者のノウハウを活用しながら、充実に努めます。

老朽化が課題であった瑞穂地区の放課後児童クラブ「のびのび2組」を瑞穂小学校体育館に隣接した用地に整備します。



▲ 国の重要文化財に指定されている明隆寺 観音堂 (下栗野区)

みょうりゅうじ かのんのどう
▶ 明隆寺 観音堂 北面屋根の修繕

国指定文化財である下栗野観音堂。今年度、屋根の修繕を実施します。



▲ 須知城跡

▶ 山城ガイドブックの制作

京丹波町には数多くの山城跡があります。今年度、町内の8大山城をまとめた山城ガイドブックを作成するなど、地域の歴史や魅力を発信します。

教育と子育ての町 主な予算

こども園運営事業 2,750万円

- 【新規】保育ICT化(保育支援システムの導入) 1,151万8千円
- 【新規】京丹波町立認定こども園インターンシップの実施 52万5千円

放課後児童健全育成事業 1億2,018万円

- 【拡充】放課後児童クラブの安定的な運営体制の確保 4,140万円
- 【新規】放課後児童クラブ「のびのび2組」の整備 7,172万円

小学校一般管理事業 7,389万8千円

- 【新規】小学校体育館移動式空調機器の導入 1,392万4千円

中学校一般管理事業 1億812万6千円

- 【新規】蒲生野中学校体育館空調設備の整備 7,538万5千円

学校給食事業 9,961万7千円

- 【拡充】「安心安全な学校給食」オーガニック食材の活用促進 5,438万2千円

人材育成による持続可能な町づくり事業 1,735万1千円

- 【新規】京丹波町教育魅力化事業 1,585万1千円
- 【継続】須知高校教育振興対策交付金 150万円

社寺等文化資料保全補助事業 635万1千円

- 【継続】文化財保存に対する補助金 290万1千円

指定文化財管理事業 278万7千円

- 【新規】下栗野観音堂北面屋根の修繕 130万円

「地域の宝」(人材・文化財等)調査活用推進事業 177万2千円

- 【新規】京丹波山城ガイドブックの作成 22万円

令和7年度京丹波町当初予算概要 ～未来へ 幸せつなぐまち～



京丹波町の魅力を広めるため
町内外に情報発信を行い
つながりの輪を広げます
GO! GREEN GREEN!

人のふれあいを感ずる町

PICK UP!

道の駅「瑞穂の里・さらびき」大規模整備

地域振興拠点として再整備工事を行います。令和7年度中の完成を目指し観光や防災などのさらなる地方創生に向けた取組を加速させます。



▲ 外観の完成イメージ



▲ 内観の完成イメージ(左: 飲食スペース 右: 物販スペース)

宿泊交流拠点施設「みずほガーデンロッジ」の運用



▲ 改修された施設
(左: 入口の吹き抜け 右: 研修室)

宿泊施設「みずほガーデンロッジ」は、現在、改修を進めており、今年9月には、新たな運用が始まります。交通の要衝、京丹波町のランドマーク(目印となる施設)として宿泊などの滞在をきっかけに、交流イベントや企業研修などを行っていただき、さまざまな分野の多彩な人材が活躍する拠点施設を目指します。



全国都市緑化フェア(来年開催)へ向けて わち山野草の森の改修

緑を取り入れ、快適で豊かな暮らしを実現することを目的とする日本最大規模の花と緑のイベント「全国都市緑化フェア in 京都丹波」が、令和8年秋に京丹波町、亀岡市、南丹市で行われます。会場の一つとなるわち山野草の森の案内モニュメント(魅力を紹介する建造物)やトイレの改修を行います。



▲ 左: 山野草の森に咲くささゆり
右: 飛来が期待されるギフチョウ

みんなが集うことができる施設の整備

わち山野草の森に木材アーケードを設置。植物を植え込みみどりのトンネルとして来場者を出迎えます。

安心安全に暮らせる町
選ばれる町へ



▶ 地域防災力の強化へ

地球温暖化などの影響で、集中豪雨や大雪など、昨今、災害が多発しています。

災害は起きる、という前提に立ち、被害を最小限に抑える「減災」への取組が重要です。京丹波町では、企業や団体などと災害協定を結び、多くの関係者による支援体制を整えています。自主防災組織の強化と支援を拡充するなど、区長会、消防団、民生児童委員の皆さんとより一層連携して、地域防災力の充実にに向けた情報発信と支援に務めます。



▶ 予約型乗合タクシーの展開を検討

高齢化により、運転免許証の自主返納が進むなど、地域の皆さんが必要とする「公共交通の姿」が変化してきました。令和6年4月から和知地区で予約型乗合タクシー運行実証実験を行い、令和7年度から本格運行を開始しました。町営バスの運行体制も見直す中で、丹波地区、瑞穂地区においても予約型乗合タクシーの展開を検討し、さらなる利便性の向上を目指します。



▶ タウンプロモーションの強化

京丹波町の魅力を町内外に伝える取組(タウンプロモーション)の戦略を策定し、観光客や関係人口の増加、ふるさと納税額を増やす取組を進めています。京丹波町から生まれた「ヒト・モノ・コト」の価値を磨き上げ、ブランド力を高める取組を進めています(FROM京丹波)。

そして、京丹波町への愛着を持っていただけるファンを増やす取組も進めています。

さらに、地域にある魅力を味わっていただく観光事業(コミュニティツーリズム)を企画し、関係人口、交流人口の創出に力を入れます。



▲ まちづくりについて考える官民連携組織「京丹波イノベーションラボ」の会議

▶ タウンプロモーションアクションプランの実行

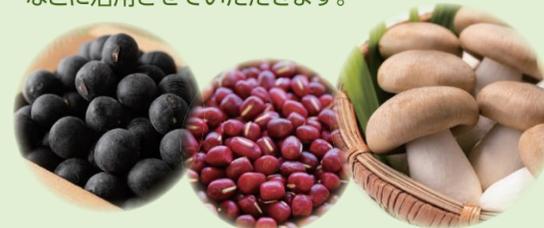
タウンプロモーション戦略に基づいて、さまざまな計画を実行(アクション)します。冬の京丹波町の魅力を楽しむイベント「クリスマスマーケット」の開催やまちへの愛着(シビックプライド)を醸成するさまざまな取組を行うほか、教育機関と連携し、まちの魅力を伝える取組(GREEN GREEN SCHOOL)などを展開します。

GO! GREEN GREEN!



▶ ふるさと納税

プロモーション戦略の取組によりふるさと納税の寄付額が令和元年度と比べて20倍近く増加しました。お寄せいただいた寄付金は、行政サービスの向上などに活用させていただきます。



GREEN GREEN KYOTAMBA

京丹波は、自然と食に恵まれた町ですが、少子高齢化で人が減り、地域経済が縮小しつつあります。GO! GREEN GREENの掛け声で、町民と町に関わりのある人が手を取り合い、町が持つ資源や可能性を生かしながら、まちの未来について考え行動し、笑顔あふれる京丹波町を目指します。

人のふれあいを感じる町 主な予算

- グリーンランドみずほ管理運営事業 7億108万7千円**
【新規】道の駅「瑞穂の里・さらびき」の再整備 6億7,997万4千円
- 持続可能で豊かな地域創造事業 5,906万3千円**
【新規】デジタル地域通貨の運用 4,316万円
【新規】宿泊交流拠点施設「みずほガーデンロッジ」の運用 966万円
- プロモーション戦略推進事業 1,742万8千円**
【新規】タウンプロモーションアクションプランの実行 1,218万7千円
- from京丹波推進事業 834万7千円**
【拡充】「FROM京丹波」プロモーション業務 402万1千円
- 京丹波ファンクラブ事業 507万7千円**
【拡充】ファンクラブ企画運営 330万円
- 想いでつながるコミュニティ推進事業 195万円**
【拡充】コミュニティツーリズム企画運営 186万円
- みんなのまち拠点プロジェクト事業 944万5千円**
【新規】公共施設移転に係る調査 919万6千円
- 観光施設管理運営事業 5,717万2千円**
【新規】わち山野草の森改修工事 2,600万4千円

未来へ 幸せつなぐ 持続可能なまちへ

今年、京丹波町は、合併して20周年を迎えます。

まちが育んできたこれまでの歴史。現在、そして、未来へ…。

幸せをつなぎ、持続可能なまちづくりへ向けた取組を進めます。

▶ 地域SDGs活動

いつまでも美しく、豊かな暮らしが持続する京丹波町であるために…。

京丹波町では、持続可能な地域づくりを進めていく地域SDGs活動を推進しています。

京丹波町地域SDGs活動プラットフォームのホームページから、林業体験や収穫体験などの活動に申し込むことができます。都市部から訪れた人々が、京丹波町の魅力を味わいながら、地域課題の解決へ向けた活動に参加することで都市住民と京丹波町に住む人々との関係性を深め、関係人口の創出にもつなげます。



▲ 地域SDGs活動で林業体験

▶ デジタル地域通貨の運用

6月2日から、スマートフォンなどで決済できる地域通貨「京丹波GREEN Pay(グリーンペイ)」の運用が始まりました。地域通貨アプリをダウンロードしてお金をチャージすると、町内の飲食店などで「京丹波GREEN Pay」を使って買い物ができます。

地域の皆さんによる地域の皆さんのための経済循環を目指して、持続可能なまちづくりを進めます。



▶ 人権条例の制定へ

日本国憲法において、基本的人権は、3大原則の一つです。

今年、京丹波町では、人権条例を制定します。まちづくりの主人公は、町民の皆さん、お一人お一人です。お一人お一人の人権が尊重され、幸せがあふれる京丹波町のまちづくりを進めます。自分自身を大切に、そして、他の人も大切にできる、心豊かな京丹波町を目指します。



合併20周年を記念した取組

この20年で、京丹波町は大きく変化してまいりました。京丹波町に関係する人々みんなで作ってきた20年という歴史を礎にして、未来へとつなぐ京丹波町を発信します。20周年を契機に、町への愛情と誇りを育もうと、20周年の記念式典や関連イベントを開催します。町民の皆さんから、京丹波町の10年先の未来へ向けたメッセージを募ります。



▶ 合併20周年を記念したロゴ

20周年を表す20thを中心に置き、一部分に町のプロモーションロゴである「2本の波線」を入れることで京丹波町ならではの個性を表現しています。周りを囲う20種類のアイコンには、京丹波栗や黒豆、ワインやお酒といった京丹波町が誇る食の数々が使用されています。ほかにも各地域に伝わる太鼓、ホッケーやカヌーなどのスポーツも取り入れられており、京丹波町の特徴を盛り込んだ親しみやすいデザインとなりました。一目で食や文化の豊かさ、人々のつながりの輪を感じられます。京丹波町の魅力が詰まったロゴを20周年のシンボルとして、町内外に発信していきます。

▶ 合併20周年記念式典

京丹波町の合併20周年を記念して10月11日(土)に記念式典を開催します。式典では、これまで町に寄り添い支えてこられた方への表彰が行われます。また、20年の歩みを振り返る映像や、子どもたちによる記念発表などを行います。10月19日(日)には第2部として、食と音楽をテーマに京丹波町の魅力を味わう催しを行います。

▶ カウントダウンイベント

町内からイベントを募集し、「カウントダウンイベント」として随時開催します。20周年記念ロゴの使用や特設サイトでの広報などによって一体的に取組を進め、町内全体を巻き込んで笑顔あふれるイベントづくりを目指します。

馴染みのある京都丹波ロードレース大会や、京丹波町民大学講座をブラッシュアップし、さらに盛り上がる催しにしていきます。

まちづくりは、町民の皆さん、お一人お一人が主役です。
 少子高齢化や人口減少の現状の中でも手を取り合い、協力して豊かな暮らしができる、人と人とのつながりが息づく心安らぐ場所がここに 있습니다。
 合併20周年を新たなスタートとして、笑顔の輪を広げて郷土愛を深め、みんなで京丹波町の活性化・持続可能なまちづくりを進めます。